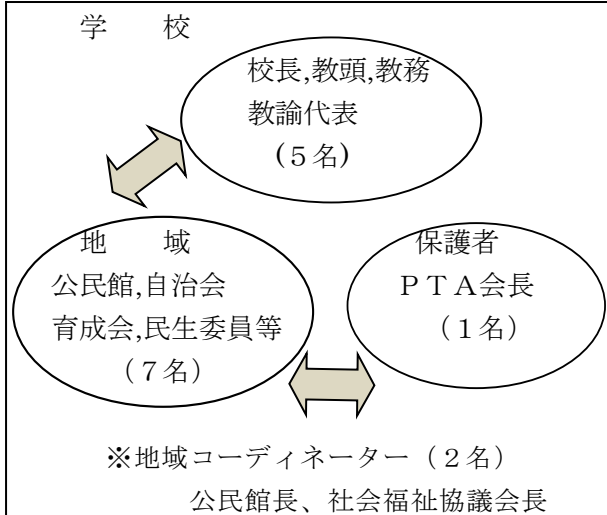


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- 開催回数3 (中学校区連絡会を別途開催)
- 開催日程 6月, 11月, 2月
- 協議内容
 - ・学校運営の基本方針の策定
 - ・家庭・地域・学校の協働による旭っ子の育成
 - ・授業への地域人材の活用
 - ・地域の行事への参加
 - ・児童の安全確保・外部評価による学校運営の改善

(3) 協議会における成果と課題

「家庭・地域・学校協議会」委員がそれぞれの立場から意見を出し合い、安心・安全な教育環境づくりに取り組むことができました。さらに、保護者や地域の方の協力の下で、各教科や総合的な学習の時間をはじめ、諸活動の充実を図り子供たちの豊かな心を育みたい。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地域の行事に積極的に関わる活動や、地域の偉人や地元の産業を主体的に調べる活動を通して、地域の方々との関わりから様々なことを学びとり、地域の「過去(歴史)」と「今」を深く知り「未来」を考える児童を育成する。

(2) 活動の実際

① 「大好き!わたしたちのまち」(3年)

地区の自慢の場所を探検し、地域の方から説明を受け様々な体験をした。公民館などに資料を集めに行きまとめ、わかりやすく工夫しながら発表できた。旭地区が誇りにしていることをまとめる中で、地域の人達の思いや願いに気づくことができた。

「ふるさと歴史ウォッチング」(6年)

福井市郷土歴史博物館などを訪ね、旭小出身の地震学者の大森房吉氏など、学芸員に自分のテーマに関して質問し、更に各自が深く調べてまとめたことを発表した。地域社会に貢献した人を調べて掲示物を作成したことで、ふるさと旭への理解と愛着を深めることができた。旭地区の偉人の話をする語り手への取材や偉人ゆかりの場所の調査活動を通し、先人の生き方に触れ、自身の生き方を考えることにもつなげられた。

② 「荒川水質調査」(5, 6年)

公民館で調査方法と水生生物について環境アドバイザーから学び、源流から足羽川合流地点までの5ポイントを育



成会や見守り隊の方などと共に調査し、その結果を自由研究にまとめた。水質調査を通して、荒川の自然に触れ、自分の住んでいる旭地区の環境について考え、大切にしていこうとする態度を育てられた。

「けやき秋フェス」(5年)

公民館が主催する祭りに図工や書写等の作品を掲示したり「はびねすダンス」を元気よく発表したりして祭りを盛り上げた。地域の行事に積極的にに関わり、地域住民の一人として参加し、貢献できた喜びを得ていた。



③「楽しいボランティア教室」(4年)

社会福祉協議会の方々とアイマスク、車椅子、手話体験を行い、ミニ講演「盲導犬とともに」を聞いた。福祉について学び、障害を持つ方と共に生きることの大切さに気付くことができた。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・旭地区探検では、事前に児童が調べ学習を行い疑問や課題をもって公民館を訪問した際、質問に答えたりパンフレットなどの適切な資料を示したりしていただいた。
- ・荒川水質調査では旭公民館で事前と事後の学習を行わせていただき、大人がなるべく口を出さずに児童が自分で考えて動く自主性を育てるように関わっていただいた。
- ・社会福祉協議会の協力をいただき、「ボランティア教室」「敬老会」でお年寄りと触れ合う活動を取り入れることで、「福祉」をテーマに総合的な学習を効果的に行うことができた。

(4) 特に工夫した事項

- ・児童が調査しまとめた内容について実物投影機を使って発表できたことは、たいへん有効で、発表後の質問や意見交流が活発に行われ、プレゼン力の育成にもつながった。
- ・水質調査、けやき秋フェスなどの外での活動に、日よけ用テントは、児童の安全な活動を維持するためにたいへん役に立った。
- ・けやき祭りを盛り上げるために、児童はステージ発表に向けて自分たちでCDを使いながら繰り返し練習を重ねて、本番成功することができ、達成感を味わわせることができた。

(5) 成果と課題

- 地域コーディネーターを、地域行事や活動の中心で支える公民館長と社会福祉協議会会長に依頼できたことはたいへん心強く、活動がスムーズに行え、充実した取組となった。
- 旭地区を児童が主体的に調べていく中で地域の方に支援していただいたことや、誇りにしていることをまとめることで、地域の方々の思いや願いに気付くことができた。
- 荒川の自然に触れ、自分の住む旭地区の環境を考え、大切にしようとする態度を育てられた。また、児童は地域行事に積極的にに関わり、貢献できた喜びを感じていた。
- 今後さらに主体的な学習を展開するために、地域の方と目標を共有した上で事前打合をしっかり行い、児童が企画・提案する活動ができるとよい。

